

定山溪もぐりづくり報告会を開催しました

豊平峡・定山溪ダム水源地域ビジョン推進会議主催による「定山溪の森林づくり 二〇一三地域のもりから学ぶ森林づくり報告会」を二月二十六日、水曜日に定山溪中学校を舞台に開催し、平成二五年度に行った森林教室の報告や定山溪小学校・中学校の児童・生徒の皆さんの研究発表、「札幌市定山溪自然の村施設長」の特別講話を聞きました。



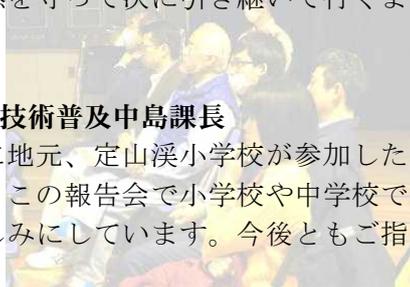
主催者あいさつ みずもり会議上野顧問

札幌市の水の九割り近くはこの定山溪のダムでまかなわれています。このダムを守っている森林の役割はとても大切です。ここにご参集の皆様はもとより小学生・中学生もこの自然を守って次に引き継いで行くようお願いしたい。



来賓あいさつ 北海道森林管理局技術普及中島課長

昨年の『全国こどもサミット』に地元、定山溪小学校が参加したことにまずもってお礼いたします。この報告会で小学校や中学校で学習した内容を発表されると聞いており大変楽しみにしています。今後ともご指導・ご支援をお願いします。



最初に「石狩地域森林ふれあい推進センター 渡辺所長」から森林教室について報告があり、今年の特徴は草花の数を調べたり、植えた木の高さを測ったりしたこと、これは来年度の成長や数の変化を比較するためと説明がありました。また、苗木を植えたり体験林業も行ったと報告がありました。続いて小学校の発表です。



札幌市立定山溪小学校

昨年、八月の夏休み期間中に「全国子どもサミット」が定山溪地区を舞台に開催されています。そのときに「定山溪の自然再生をめざして」と題して発表を行いました。内容は、四年前に奥定山溪の森から木々の種を拾って学校の畑で苗木として育てて再び山に帰した事を発表しています。この中で定山溪の自然や環境の大切さを学んだ事を報告会参加者の皆さんに聞いてもらいました。



札幌市立定山溪中学校

定山溪中から、今年度優秀賞をいただいた、さつぽろこども環境コンテストと、中文連での発表を紹介してもらいました。



環境コンテストでは、今年行った森林教室の内容を題材に自然から学んだ事を発表しています。このなかで、「地球やみんなのことを考えながら生きていきたい」「私は、自然の中の活動が貴重な体験となりました」「自分が住む定山溪の川も山もとてもきれいなことにあらためて感動」と感想が述べられていました。また、中文連発表では「オサムシ科甲虫類から環境変化を探る」「自動撮影装置による定山溪の動物調査」の二題が発表されました。いずれも昆虫や動物における定山溪の自然を継続して調べた調査結果です。このような学習や観察をとおして自分たちの周りの自然に関心を持つことにより故郷、定山溪の自然環境の素晴らしさを知り伝える活動になっていると感じます。



特別講話 定山溪の自然を語る

定山溪自然の村 下河原施設長

下河原施設長からは、自然の村の年間を通しての行事の説明がなされ、子ども達や父兄、家族や年配者の方々も自然に触れその中で生き生きと活動していることの様子が話されました。また、森が目の前ということもありヒグマが施設付近に出てきたときの話や、鳥やザリガニの話もありました。また、アライグマなどの外来生物の話もありました。最後に「定山溪の自然はすぐ近くの札幌市街地でも見られない自然で、大切に、そして愛してください」と話されました。



ちよつと感想

森林学習会に「先生」として指導いただいている春木先生が来ていました。先生からは「こんな色々体験できるのは定山溪だけです。今後も続けてほしいものです」と言葉を頂きました。また、来賓の中島課長からも頑張って研究を続けていってほしいとの感想がありました。

